

附 録

一、年 表

明治七年

五月十四日 歩兵第八聯隊創設せらる。

十二月十八日 軍旗を授與せらる。

明治九年

十一月二日 第三大隊 萩の觀望の爲出發し萩及宇

雲に戦ひ二十一日歸還。

明治十年

二月十九日 西南戰爭に出動第二大隊出發、同二十二

日第三大隊、廿四日第一大隊出發。

十月二日 凱旋。

明治十五年

一月四日 軍人に勅諭を下し五事を訓諭し給ふ。

明治十八年

六月 澁川大出水に付救援。

明治二十年

二月十五日 城東總兵場大觀兵式に參列。

同日御名代熈仁親王御來營。

明治二十三年

三月三十日 より四月二日まで名古屋附近の海陸大演習に參加。

明治二十七年

八月一日 清國に對し宣戰の詔勅發せらる。

十一月二十六日 勅旨命下る。

明治二十八年

三月十五日 樺田式連發歩兵銃を交付せらる。

同二十九日 屯營出發出征。

四月十七日 大連に上陸。

同 二十一日 構和條約調印。

五月十七日 艦隊序列を解かれ、海城附近の守備に任ず。

十二月二十四日 凱旋完了。

明治二十九年

一月四日 臺灣土師征討の命を受く。

同六、七日 屯営出發十三、四日蘇澳に上陸。

同 十七日 柴圍庄の匪徒を撃破し、同十九日頭圍に之を粉砕す。

十一月二十日 凱旋を終る。

明治三十一年

五月二十六日 第三大隊韓國守備として出發。

十一月十五日 より十七日まで 瀋河泉特別大演習に参加。

明治三十三年

六月二十四日 北海守備として、集成一中隊を派遣。

明治三十七年

二月十日 日露開戦。

三月六日 勳賞下令。

四月二十二日 屯営出發征途に上る。

五月十日 遼東半島に上陸。

同 二十六日 南山占領。

六月十三日 北進に就き小敵を驅逐して、八月三日海城に着。

八月二十九日 より九月四日まで、遼陽の會戦に参加

十月七日 より十六日まで沙河の會戦に参加

明治三十八年

三月一日 より十日まで奉天會戦に参加。

九月十六日 休戦。

十月十六日 平和克復。  
 十一月三十日 舊宿地出發。  
 十二月十八日 凱旋を終る。  
 明治三十九年  
 四月三十日 凱旋大觀兵式に代表部隊參列。  
 明治四十一年  
 十一月十日 より十三日まで、紀伊河大和地方特別大演習に參加。  
 明治四十二年  
 七月三十一日 北區大火に出動。  
 明治四十四年  
 八月二十八日 第二中隊名譽射撃優勝旗を得。  
 明治四十五年(大正元年)  
 二月十六日 南風大火に出動。  
 七月三十日 大正天皇踐祚軍人に勅語を賜ふ。

八月一日 明治天皇拜謁式を施行。  
 九月十三日 御大葬儀通拜式施行。  
 大正三年  
 八月二十三日 駐獨逸戰詔勅公布。  
 九月八日 第二大隊屯營出發、十五日龍口に上陸。  
 十一月十五日 より十八日迄、礪波地方特別大演習に參加。  
 大正四年  
 四月十五日 將校團に獎勵金下賜せらる。  
 五月二十日 第二大隊凱旋。  
 十月十八日 御勲影を下賜せらる。  
 十一月十日 御即位大禮奉祝式を施行。  
 十二月二日 大禮觀兵式施行代表部隊參列。  
 大正五年  
 四月六日 東宮殿下聯隊に行啓せらる。

大正六年

十一月十三日 より十六日まで、滋賀縣地方特別大演習に参加。

大正七年

八月十二日 より十九日に亘る間、歐州戰亂の結果、物價殊に米價騰貴し、各地に暴動起り之を鎮定のため出動。  
九月五日 青島守備のため一中隊出發す。

大正八年

五月五日 皇太子殿下御成年式に付、奉祝儀式を施行。  
五月廿六日 獨立守備隊歸隊。  
六月廿八日 後備歩兵聯隊旗奉還のため上京。  
七月一日 勲和條約調印奉祝並大戦記念の爲城東練兵場に於て觀兵式を施行せらる。

八〇

九月廿九日 天津駐屯のため第五中隊出發。

十月卅日 より神戸加古川附近特別大演習に参加。

大正九年

六月廿日 羅馬尼亞皇太子殿下大阪御上陸に付儀仗隊として出迎ふ。

九月三日 青島守備隊出發。

九月廿一日 北京駐屯のため一中隊出發。

十月四日 天津派遣中隊歸還。

大正十年

五月十四日 本年より東旗拜受記念祝典を此の日に變更。

八月二十五日 第四師團創立五十年週に付觀兵式を舉行さる。

九月三日 青島守備隊出發。

九月十八日 前青島守備隊歸還。

十月三日 北京派遣中隊歸還。

大正十一年

四月十三日 青島守備隊歸還。

八月十五日 陸軍軍備整理のため、第四、八、十二中隊解散さる。

大正十二年

大正十三年

五月十四日 第五十回軍旗拜受記念式典を盛大に舉行

十一月七日 より秋季演習並加古川附近の第十師團との師團對抗演習に出發。

大正十四年

五月 徵募員變更あり三島豐能郡加はる。

大正十五年

四月十六日 皇太子殿下御賓員(歩兵大佐の御服装)を下賜さる。

五月廿一日 特命檢閲使梨木宮守正王殿下來臨檢閲遊ばさる。

十二月廿五日 天皇陛下御崩御遊ばさる。聯隊は午後六時半特別御賓員に對し、最後の進拜を行ふ。

今上陛下御崩御遊ばされ、年號を昭和と仰出さる。

昭和二年

二月五日 大正天皇御大葬儀參列のため、軍旗、聯隊長、副隊長代表者出發。

二月七日 大正天皇御大葬儀東京に於て行はる、午後十一時聯隊は神轎を安置し、進拜式を行ふ。

四月廿一日 北京駐屯のため第十一中隊出發。

九月十一日 第三回特別陣地攻防演習參加のため出發

十一月十日 特別大演習のため出發。

十二月廿五日 大正天皇崩御後一年を關す午後十時迄

拜式を行ふ。

昭和三年

七月四日 大阪防空演習に参加。

九月三日 北宮御道中隊歸還。

九月廿八日 左の御眞影を奉還す。

明治天皇陛下。

昭憲皇太后陛下。

大正天皇陛下。

皇太后陛下。

今上天皇陛下。

十月廿八日 より師團對抗演習に参加。

十一月五日 天皇皇后兩陛下の御眞影を拜受す。

十一月一日 京都に於て即位大禮を行はせらる。聯隊は午後一時營庭に於て遙拜式を行ふ。

十一月十六日 大饗第一日、酒饌を賜ふ。

十一月廿七日 大禮觀兵式参加のため代表部隊出發。

八二

同 廿九日 代々木練兵場に於て大觀兵式あり代表隊參列。

十二月十日 御大禮記念奉業として聯隊將校准士官下士兵卒一同廣金して營庭に電氣時計を設け。

昭和四年

三月三十一日 陸軍歩兵中尉安部直美陸軍省主催の劍道大會に於て優勝。

六月四日 天皇陛下大阪に行幸遊はさる。

六月七日 聯隊は儀仗隊並儀仗衛兵に服務す。

六月五日 關西地方諸國聯隊御親閱式行はる。聯隊は將校以下援助委員に服務す。

六月六日 天皇陛下第四師團諸員觀兵式を行はせらる。

十月二日 伊勢神宮式年遷宮祭に付遙拜式を行ふ。

十月廿九日 宇垣陸軍大臣聯隊を視察さる。

十一月十六日 より加古川平地に於ける師團對抗演習に参加。